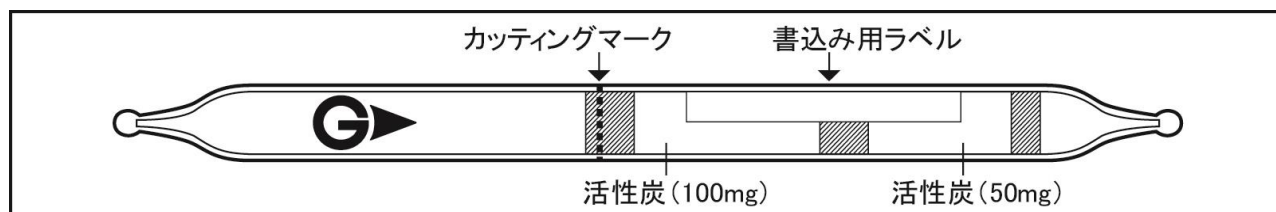


活性炭チューブ(球状活性炭) 258-20



脱着率の例 (脱着溶媒:二硫化炭素 1.0mL/100mg-活性炭)

	物質名	脱着率(%)	変動係数(%)
脂肪族炭化水素	ノルマルヘキサン	98.6	0.4
	ノルマルヘプタン	104.9	0.9
	n-デカン	107.2	1.3
	ノナン	105.0	1.1
	ウンデカン	107.0	0.9
	ヘキサデカン	85.6	2.1
	ペンタデカン	100.8	1.4
	テトラデカン	100.2	1.8
	2,4-ジメチルペンタン	108.5	1.2
	エチリデンノルボルネン *5	97.3	3.5
芳香族炭化水素	ベンゼン	99.2	0.3
	トルエン	95.9	1.9
	m,p-キシレン	98.2	0.3
	o-キシレン	99.1	0.8
	エチルベンゼン	103.6	2.1
	1,3,5-トリメチルベンゼン	104.8	1.9
	1,2,4-トリメチルベンゼン	99.4	2.1
	1,2,3-トリメチルベンゼン	95.6	2.2
	1,2,4,5-テトラメチルベンゼン	97.0	2.6
アルコール・ケトン類	アセトン	97.0	1.6
	メチルエチルケトン	92.0	0.6
	メチルノルマルブチルケトン*	93.7	3.5
	メチルイソブチルケトン*	98.8	0.7
	イソプロピルアルコール*	96.5	1.7
	1-ブタノール*	89.1	1.5
イソペンチルアルコール	96.1	1.4	
セロソルブ	エチレングリコールモノメチルエーテル*	76.3	5.2
	エチレングリコールモノエチルエーテル*	94.8	1.8
	エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル*	93.4	1.4
	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート*	92.8	1.8
有機塩素化合物	1,1,2,2-テトラクロロエタン	92.5	1.1
	ジクロロメタン	94.0	1.5
	クロロホルム	94.3	3.8
	四塩化炭素	94.3	3.3
	1,2-ジクロロエチレン	95.4	3.0
	ブromoジクロロメタン	107.0	0.9
	1-ブロモプロパン	89.3	1.2
	1,2-ジクロロエタン	90.3	0.8
	1,2-ジクロロプロパン	106.7	2.6
	クロロジブロモエタン	102.4	1.9
	トリクロロエチレン	93.1	2.9
	1,1,1-トリクロロエタン	94.1	2.4
	テトラクロロエチレン	93.8	2.3
	クロロベンゼン	93.2	2.3
	オルトジクロロベンゼン	95.0	2.8
	p-ジクロロベンゼン	91.6	2.2

酢酸エステル類	酢酸メチル*	94.0	2.9
	酢酸エチル	98.1	0.5
	酢酸プロピル	92.5	0.8
	酢酸イソプロピル	93.9	0.1
	酢酸ブチル	93.7	3.6
	酢酸イソブチル	96.2	3.4
	酢酸イソペンチル	95.4	1.4
その他(参考値)	1,4-ジオキサン	95.1	1.1
	2-ピネン	104.7	1.8
	リモネン	103.5	2.1
	1-ノナナール	91.4	1.6
	シクロヘキサノン*	97.7	1.3
	テトラヒドロフラン*	94.4	1.2
	スチレン	70.6	3.4
	シクロヘキサン	102.9	2.4
	1,2-酸化ブチレン	102.2	6.2
	酸化プロピレン	102.3	5.6
混合脱着溶媒	クレゾール*1	91.0	1.5
	ベンゼントリフルオロライド*2	108.9	2.9
	エチレンクロロヒドリン*3	91.2	4.4
	メタクリロニトリル*3	98.2	2.2
	ジエチレングリコールジエチルエーテル*4	107.4	2.3
	テトラエチレングリコールジメチルエーテル*4	107.8	2.3

*: 従来のヤシガラ炭で混合溶媒の調製が必要だった物質

*1: エタノール(20%)二硫化炭素混合液

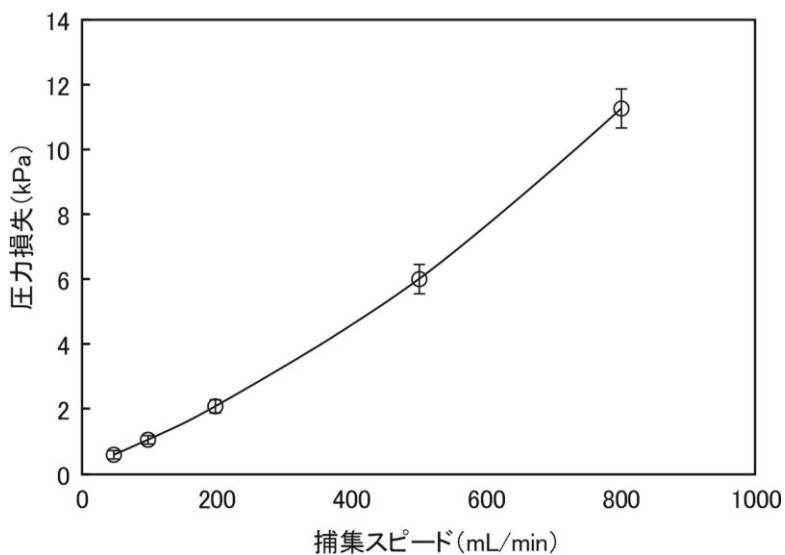
*2: メタノール(1%)二硫化炭素混合液

*3: 2-プロパノール(10%)二硫化炭素混合液

*4: メタノール(5%)ジクロロメタン混合液

*5: メタノール(5%)二硫化炭素混合液

258-20 圧力損失の一例



自動ガス採取装置の設定捕集スピードに対する圧力損失が定流量使用範囲を超えた場合、設定流量で吸引できなくなります。